

# アキレスソーラークリア

高透明遮熱フィルム

**熱線を遮り、光を活かす。**

高い透明性により、明るさを損なわず  
太陽光の熱線や紫外線をカット。  
《アキレスソーラークリア》が  
快適な空間づくりと省エネに貢献します。

自己粘着窓貼りタイプ **アキレスソーラークリアW**

屋外間仕切りタイプ **アキレスソーラークリアS**



# アキレス ソーラークリアW

自己粘着性遮熱フィルム

## ■代表的性能

### 視認性

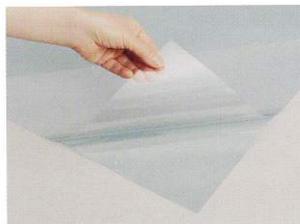


可視光線を73%透過し、明るさを損なうことなく、景観の美しさを維持したまま快適性を高めます。

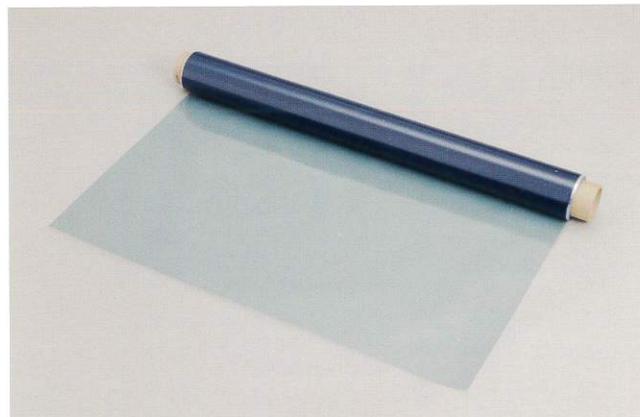
### 施工性



自己粘着性を備えており、接着剤を使わずに施工が可能です。施工時の貼り剥がしも容易で、剥離後の糊残りも発生しません。また、フィルムは柔軟性があり、施工時に折り傷や擦り傷がつきにくい仕様となっています。



※本製品には傷付き防止のセパレーターが付属しています。

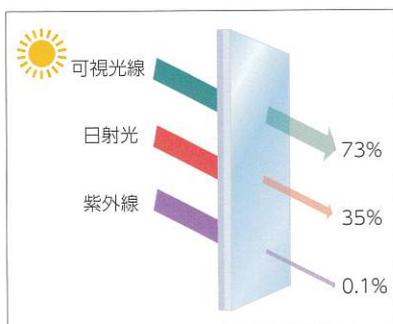


規格:0.2mm(厚)×100cm(幅)×20m(巻)

### 遮熱性

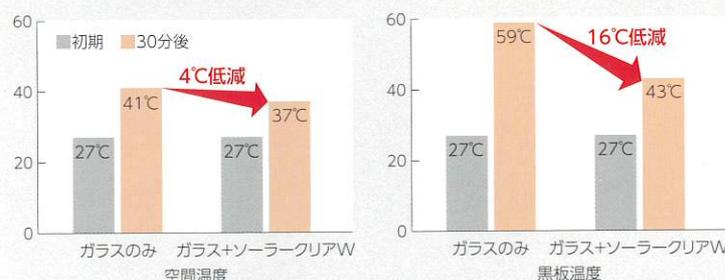


#### 太陽光透過率イメージ



暑さや日焼け、室内の色褪せの原因となる日射光・紫外線をカットしつつ、可視光線を透過させることで室内の明るさをしっかり保ちます。

#### ソーラーシミュレーター試験



試験条件:ソーラーシミュレーター

《アキレス ソーラークリアW》を使用することで、ガラスのみの場合と比較して、空間温度は4℃、黒板温度は16℃低減しました。

#### ソーラーシミュレーター試験とは?

太陽光を疑似的に発生させる光源を使用し、フィルムを黒板:PPに貼付し、遮熱性を確認する試験です。



試験条件:右図のように箱の上部をフィルムで覆い、熱光源を当てます。初期と30分後において、箱内の温度と対象物の黒板(素材:PP)温度を測定しました。

#### 光学特性

品名	製品厚さ (mm)	紫外線透過率 (%)	可視光線透過率 (%)	日射			遮蔽係数	熱貫流率 (W/m <sup>2</sup> ·k)	試験方法
				透過率 (%)	反射率 (%)	吸収率 (%)			
アキレス ソーラークリアW	0.2	0.1	73.1	34.5	5.0	60.5	0.63	6.1	JIS A559準用

※3mm厚板ガラスに貼り付け測定

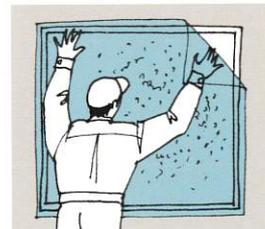
## ■用途イメージ



住居やオフィス、工場など

## ■施工方法

- 1 ガラスを綺麗に拭いてください。
- 2 ガラスの大きさより10%程大きめの《アキレス ソーラークリアW》をPETフィルムから剥がさない状態で準備してください。
- 3 霧吹きなどでガラスの表面に水滴を付けてください。
- 4 水滴の付いたガラスにPETフィルムから剥がした《アキレス ソーラークリアW》をPETフィルム側をガラス面に向けて貼ります。
- 5 《アキレス ソーラークリアW》の上からプラスチックの板などで中央から端にむけて水と空気をすきだします。
- 6 ガラスからはみ出した部分をカッターナイフなどできれいにカットします。



# アキレスソーラークリアS

防災耐候遮熱フィルム

## 代表的性能

防災性



消防法施行令第4条の3に適合しています。

耐候性



アキレス独自の配合技術により耐候性を備え、紫外線によるフィルムの黄変を抑制。屋外で使用する際も、高い透明度を維持します。

### 促進耐候性試験

ソーラークリアS



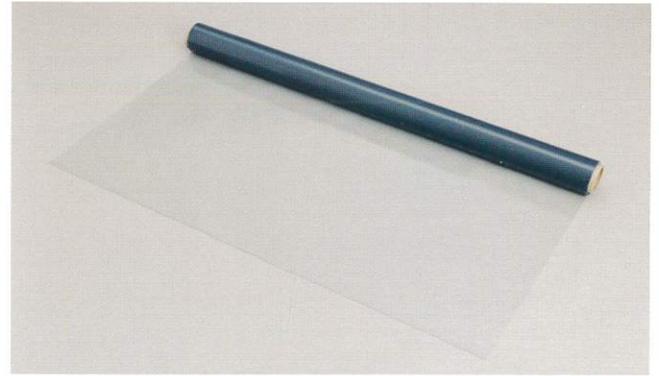
一般的な防災フィルム



試験条件:サンシャインウェザーメーター 63℃

上記の画像データは褪色劣化の様子を示すものであり、経時による表面状態および物性の変化があります。

また、上記は促進耐候性試験の結果であり、実際の使用環境による比較とは異なります。



規格:0.5mm(厚)×137cm(幅)×30m(巻)

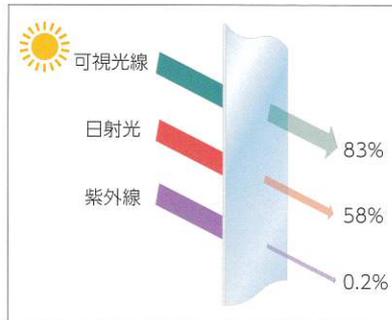
### RoHSII指令対応

RoHSII指令10物質(カドミウム・鉛・六価クロム・水銀・ポリ臭化ビフェニル・ポリ臭化ジフェニルエーテル・DEHP・DBP・BBP・DIBP)について閾値を超えた使用はありません。

遮熱性

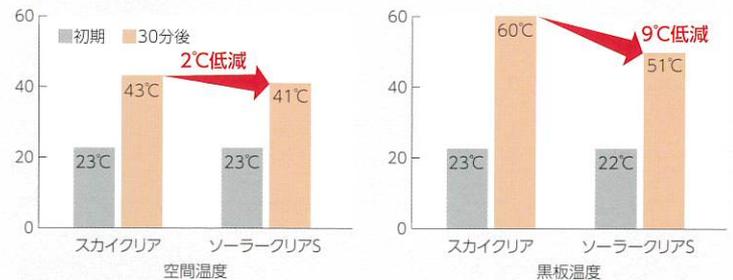


### 太陽光透過率イメージ



暑さや日焼けの原因となる日射光と紫外線をカットしつつ、可視光線を通してクリアな景観と十分な明るさを両立します。

### ソーラーシミュレーター試験



試験条件:ソーラーシミュレーター(詳細はカタログ前項に記載)

《アキレス スカイクリア防災》と《アキレス ソーラークリアS》を比較したところ、空間温度は2℃、黒板温度は9℃低減しました。

### 遮熱性の比較実験



ソーラークリアS スカイクリア防災

ソーラークリアS スカイクリア防災

木箱の上部に《アキレス ソーラークリアS》と《アキレス スカイクリア防災》のフィルムを張り、箱内には温度計とバターを設置。上方から熱光源のライトを照射し、その温度変化を観察しました。初期温度はどちらも23℃でしたが、17分後、《スカイクリア防災》は温度が24℃上昇しバターが溶融。対して《ソーラークリアS》は温度上昇が15℃に抑えられバターも形を保っていました。この結果から、《ソーラークリアS》の優れた遮熱性が確認できました。

## 用途イメージ



カフェテラス



レストラン



ドームテント

■《アキレス ソーラークリア》在庫規格・物性一覧

項目		アキレス ソーラークリアW	アキレス ソーラークリアS	試験方法		
在庫規格	厚さ [mm]	0.2	0.5			
	幅 [cm]	100	137			
	巻数 [m]	20	30			
	色相	クリアブルー	クリアブルー			
	プリントマーク	無	無			
一般物性	100%モジュラス [N/cm]	タテ	22.4	JIS K 6732準用 (3ピース平均値)		
		ヨコ	16.2		55.9	
	抗張性 [N/cm]	タテ	50.0		136.1	
		ヨコ	42.3		131.5	
	伸び率 [%]	タテ	300		305	
		ヨコ	364		331	
	引裂強度 [N]	タテ	12.8		36.3	
		ヨコ	13.0		36.5	
	耐寒性 [°C]	タテ	—		-35	JIS K 6772準用
		ヨコ	—		-30	
防炎性		—	消防法施行令第4条の3に適合			



注意

設計、施工、ご使用時の注意

- 《アキレス ソーラークリアW》はガラスの室内側に貼付し使用してください。(セパレーターは剥がしてください)
- 《アキレス ソーラークリアW》は網入りガラス、熱吸収ガラス、ペアガラス等に貼ると熱割れ現象を起こす場合があります。(熱割れに関しては可能性の有無だけで、絶対的な判断ができません。保証はいたしかねます)
- 《アキレス ソーラークリアW》は自己粘着性フィルムのため、すりガラス等の表面平滑性が無いガラスには貼り付けできません。
- 《アキレス ソーラークリアW》は施工時の水分が、施工完了後も残る場合がありますが、水分蒸発とともに無くなります。
- 《アキレス ソーラークリアW》に防炎性、不燃性、飛散防止性はありません。
- 《アキレス ソーラークリアS》の耐候性データはその効果の持続性を保証するものではありません。対応年数はご使用環境の影響を受けます。
- 高温多湿・直射日光の当たる場所や火気の近くでの保管は避けてください。  
長期の保管を避け先入れ先出しを徹底してください。保管状況により外観の変化や製品の重量負荷による、へこみ・積載跡が発生する場合があります。
- 軟質塩化ビニルは、一般的に紫外線、雰囲気中の溶剤等の化学物質、オゾンなどにより経時変化が促進されることがあります。  
状況に応じて早めの交換をおすすめします。
- 軟質塩化ビニルは、一般的に可塑剤の移行により接触している他樹脂製品を汚染する場合があります。
- 軟質塩化ビニルは一般的に耐熱性はありません。シート温度が60°C以上になる場所では使用しないでください。
- 軟質塩化ビニルは、その特性上ご使用環境により寸法が変化します。
- 製品の廃棄(焼却など)は、当該自治体により定められた方法に従ってください。
- 設計、施工、ご使用上の注意については、当社にご確認ください。
- 外観および色相は現物と異なる場合があります。
- 製法上、解反後の寸法変化が発生いたします。寸法安定性を高めるため、解反後24時間以上の養生をおすすめします。
- 高所での作業となる場合は十分に安全を考慮した上で行ってください。
- 本カタログ中に掲載した物性データは実測値であり、保証値ではありません。

メンテナンス

- 《アキレス ソーラークリアW》の養生期間中は貼り付けたフィルムに触らないでください。
- べたつきや汚れが気になる場合は、中性洗剤を水で希釈し、柔らかい布(ウエスなど)に含ませ、よく絞ってから表面を軽く拭き取ってください。

※ ソーラークリアは、アキレス株式会社の登録商標です。



アキレス株式会社

<https://www.achilles.jp>

フィルム販売部

本社：〒169-8885 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー  
TEL 03-5338-9266 FAX 03-5338-9401

関西支社：〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー  
TEL 06-4707-2281 FAX 06-4707-2303

北海道営業所：〒060-0807 北海道札幌市北区北七条西1-2-6 NCO札幌  
TEL 011-806-2012 FAX 011-806-2015

九州営業所：〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-12-6 花村ビル  
TEL 092-477-8471 FAX 092-477-8472

生産拠点：□足利第一工場 □滋賀第一工場

■このカタログの内容は2026年1月現在のもので、掲載されている仕様は予告なく変更することがあります。